

こんにちは 中根さちの ハーフシター



日本共産党高知県議会 活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内1-2-20 2014.10.5
自 宅 872-9324 高知市福井町1475-3 NO.406

防災行政無線のスピーカー増設も

大害対策

防災行政無線の検証・改善(高知市が実施している)防災ラジオの普及を求めました。これに対し、「放送が聞こえない地域もあり、屋外スピーカーの増設などの充実等、市町村と協議していく」「緊急情報の伝達の一つとして、防災ラジオの情報を提供する」と危機管理部長が答弁。知事は、災害対策について、浸水被害の原因分析にもとづき、河川改修の早期実施、日下川、平治川等内水排水のためポンプ整備、遊水機能の確保案にとりくむ」と回答しました。この向の雨が連続して降りつづき、バウクビルディング型降床現象を、しっかり認識してフェックを強めていくことを要望しました。



本会議室が9月30日からはじまりました。30日、午後7時半から、中根が代表質問を行いました。

県議会質問より

その中から

自然エネ買電中断は

普及への支障懸念 林業振興 環境部長

中根氏 四国で自然エネルギーによる電力買い取り契約の中断という事態は起きないか。
大野靖紀林業振興・環境部長 10月1日以降、住宅用など10割未満の太陽光発電を除いて新たな契約申し込みについて可否の回答を保留すると、四国電力が発表した。県内で進められている民間などの事業計画にも支障が生じ、普及拡大の動きにブレーキがかかるのではないかと懸念している。今後の見通しなどについて、四国からしっかりと説明してもらう考えだ。
中根氏 とさでん交通へ県職員の派遣を検討してはどうか。中央地域の公共交通改善に対する協議機関連立ち上げの進行状況は。
岩城孝章副知事 業務に直接従事する職員への派遣は考えていないが、公共交通事業の改善策を協議する場に積

高知県女性団体ネットワーク交流会

学び・交流・今後に生かす。9月28日、ソレド。第16回高知県女性団体ネットワークの学習交流会が開かれました。高知大学教育学部の森相美奈先生のお話は、様々なデータを基に、高知の女性の現状もうままりに述べ、課題も明らかになり、とても勉強になりました。本堂に女性が輝く社会は、男性も子どもも、高齢者もくらしやすい社会をつくることだとあらためて感じます。学習交流会には大げさな

極的に関わることで県の役割を果たしたい。協議メンバーは、関係自治体と同社に加え、学識経験者らを想定しており、事務局は同社内には設置予定。路線再編の検討や利便性、収益性の向上を図る具体策の検討などを行う。中根氏 子どもの貧困対策についての計画策定を急ぐべきだ。井奥和男地域福祉部長 教育委員会などと連携し、貧困対策を総合的に推進する取り組みを検討する必要がある。全国と乖離(かいり)する改善すべき指標もある。有識者から意見をもらうなど実効性のある計画となるよう留意する。本県

てくてく歩記 (403)
わたしの
おやんやと考へながら かけまわっている
鼻先に、70センチと金糸の香りが。おや!
もう そんな季節なのかとびっくり。今年もおと
し9月16日のあつた。来年一春地を歩きま
6ヶ月。いや、身も心も食欲の秋にひまわ
て。かえらわは

の実態調査に基づく独自の指標設定の必要性なども計画づくりの中で検討する。
—高知新聞19付から—